

子宮頸管縫縮術を受けられる(当日入院) 様へ

目標
 ○切迫症状が安定(消失)し、安全・安楽に妊娠継続ができ、退院できる
 ○不安が軽減し、心身の安静が保持できる

説明医師

看護師

月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	当日術前	当日術後	手術1日目	手術2日目以降
検査			血液と尿の検査を行います  	手術3日目に血液と尿の検査を行います  
食事	絶飲食です 		昼より全粥 ○常食 ○治療食(塩分7g)  	朝より ○常食 ○治療食(塩分7g)    
処置・観察	早期、体温・脈拍・血圧測定があります  リストバンドを装着します(退院日まで装着します) 赤ちゃんの心音を観察します	術後は頻回に体温・脈拍・血圧を測定します  酸素吸入をする場合があります 手術中に尿の管が入ります 赤ちゃんの心音を観察します(妊娠16週以降)	適宜、体温・脈拍・血圧を測定します 	・適宜、体温・脈拍・血圧を測定します ・術後の診察があります  ・症状に応じて尿の管を抜きます ・症状に変化があれば、その都度診察を行います 医師、看護師にお伝えください ・退院の前に診察をします ・退院時にリストバンドを外します
注射・内服	朝、点滴を開始します  午前手術の場合、手術室で点滴を行う場合もあります 	手術後の点滴があります  症状に応じて、子宮収縮予防の点滴を行います	点滴が朝・夕(2回/日)あります  症状に応じて内服薬が出されます	お腹の張り、出血がなくなり症状がおさまれば点滴を中止します この時点で、内服に変更となる場合があります 手術2日目、ガスがない場合はガスを出しやすくする注射をすることがあります
行動	手術着に着替えて下さい 以下のものを外します ・腕時計 ・指輪 ・眼鏡 ・マニキュア、ペディキュア ・ヘアピン ・コンタクトレンズ ・ピアス 前日に除毛をしなかった場合、午前中に手術部位の除毛を行い、その後シャワーしていただきます シャワー許可のない方は、清拭を行います  	床上安静となります 	医師の診療計画により、安静にさせていただきます ※ベッド上安静の方は排泄が床上となりますので、ナースコールでお知らせください 洗面の準備も看護師が行います 医師の指示があるまで、安静にさせていただきます 看護師が清拭を行います 	診察を受けてから、発熱がなく出血や傷に問題がなければシャワー浴が許可されます   シャワー浴が無理な場合は適宜、看護師が清拭・洗髪いたします 尿の管がとれれば、病室を歩くことができます 
説明	主治医より適宜病状説明をします  看護師より家族の方に手術室の場所等説明をします  薬剤師より薬についての説明をします 			※退院となる場合 医師より説明 退院後の治療計画について  看護師より説明 退院後の日常生活について 
	切迫症状が治まらない場合は、安静の程度、診療計画が変更になることがあります			診察、検査の結果問題がなければ退院となります

*入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
 *入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
 *この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。
 *入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。